

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	山岡重行	所属	聖徳大学
研究会等名称	サブカルチャー心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 11名 (うち認定心理士2名) 非会員 4名 (うち認定心理士0名) ※ML登録者は43名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>日本心理学会第83回大会においてシンポジウムを開催した。夜には懇親会を開催してメンバー同士の親睦を深めるとともに情報交換をおこなった。シンポジウムや懇親会での議論を発展させて2020年には研究会の代表を中心として『サブカルチャーの心理学』(山岡重行(編著)、2020、福村出版)を出版した。</p> <p>シンポジウム開催 名称: 日本心理学会 第83回大会 公募シンポジウム 日時: 2019年9月12日(木) 15:45-17:45 場所: 立命館大学 大阪いばらきキャンパス URL: http://jpa2019.com/ 詳細: サブカルチャーの心理学(2) —オタクの幸福感— Subculture Psychology (2): Happiness of Otaku</p> <p>企画: サブカルチャー心理学研究会 司会: 家島明彦 (大阪大学) 司会: 岡田有司 (東北大学) 話題提供者: 山岡重行 (聖徳大学) 話題提供者: 岡田 努 (聖徳大学) 話題提供者: 杉浦義典 (広島大学) 話題提供者: 菊池 聡 (信州大学) 指定討論者: 岡田有司 (東北大学) 指定討論者: 家島明彦 (大阪大学)</p> <p>本シンポジウムでは「オタクの幸福感」をテーマに、サブカルチャーが社会的にあまり肯定的に評価されない人たちに幸福感と居場所を与え社会の一員として包摂する機能について議論した。</p> <p>出版 山岡重行 (編著) 2020『サブカルチャーの心理学 カウンターカルチャーから「オタク」「オタ」まで』福村出版</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
サブカルチャー心理学研究会（メンバー登録に応じた人リスト）				
研究集会開催日： 2019年4月21 日(日)に呼びかけ				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	水野 君平	北海道大学		
2	山田 智之	上越教育大学	○	
3	渋谷 明子	創価大学	○	
4	久保(川合) 南海子	愛知淑徳大学	○	
5	杉浦義典	広島大学	○	
6	白石 智子	宇都宮大学	○	
7	家島 明彦	大阪大学	○	○
8	宮下基幸	福村出版		
9	太田碧	法政大学	○	
10	高坂康雅	和光大学	○	○
11	浅井健史	明治大学		
12	奥村知里	立命館大学	○	
13	佐藤 哲康	川村学園女子大学	○	
14	渡辺拓実	東京大学大学院		
15	山岡重行	聖徳大学	○	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

	氏名	所属	会員	認定 心理士
25				

(様式5)

2020年3月31日

日本心理学会研究会

2019年度会計報告書

研究会名称 サブカルチャー心理学研究会

研究会番号 研19025

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2020年3月31日	返金（日本心理学会）	¥40,000
	支出合計	¥40,000